

学校だより増刊号

学校評価アンケート結果

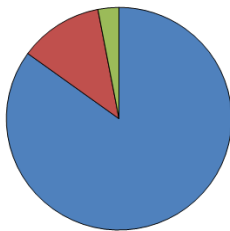
平成27年10月10日
京都市立衣笠小学校
TEL 462-0034
FAX 462-0618

児童(低学年)

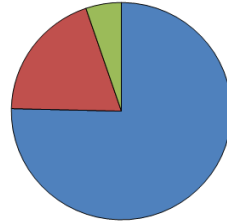
■1よく出来ている ■2だいたい出来ている ■3あまり出来ていない ■4出来ていない

たのしくがっこうせいかつをすごしている。

めあてをもって、せっきょくてきにがくしゅうしている。



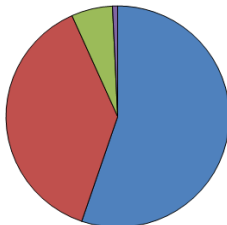
85%
12.00%
3%
0%



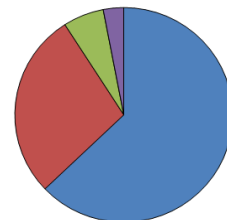
75.40%
19.40%
5.20%
0%

クラスのなかでは、じしんがなくてもあんしんして、じぶんのいけんをはっぴょうできる。

とちゅうでなげださず、さいごまでがんばる。



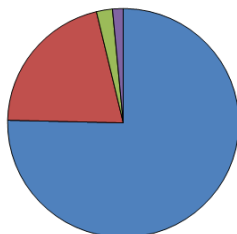
55.20%
38.10%
6%
0.70%



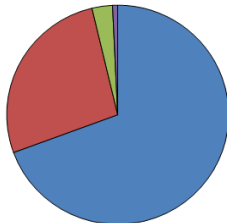
62.90%
28%
6.10%
3.00%

やさしいきもちをもって、ともだちとなかよくする。

ともだちのいいところをみつけている。



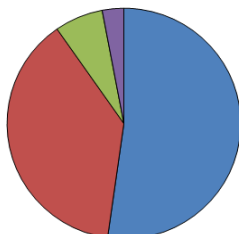
75.40%
20.90%
2.20%
1.50%



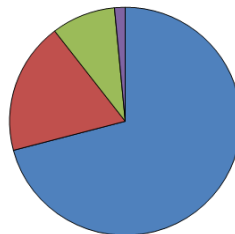
69.40%
26.90%
3%
0.70%

あいさつをしっかりしている。

がっこうやクラスのきまりをまもっている。



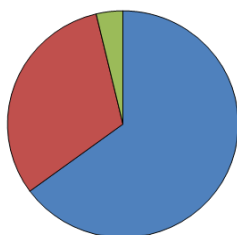
52.20%
38.10%
6.70%
3%



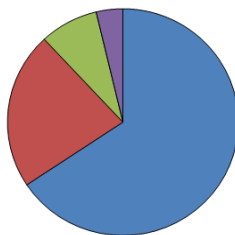
70.90%
18.70%
9%
1.50%

そとでげんきにあそんでいる。

がっこうのとしょかんをりようして、すすんでどくしょしている。



64.90%
31.30%
3.70%
0%

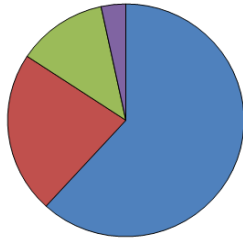


65.70%
22.40%
8.20%
3.70%

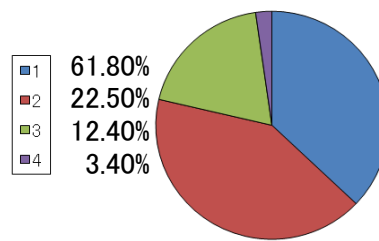
児童(高学年)

■1よく出来ている ■2だいたい出来ている ■3あまり出来ていない ■4出来ていない

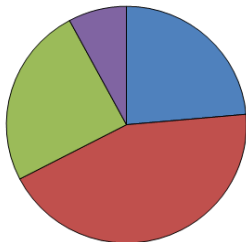
楽しく学校生活を過ごしている。



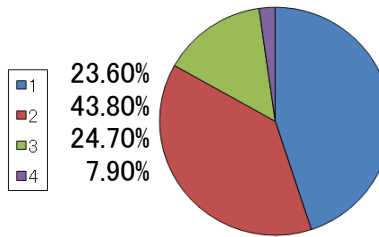
めあてをもって、積極的に学習している。



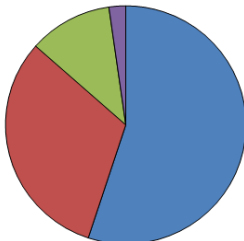
クラスの中では、自信がなくても安心して、自分の意見を発表できる。



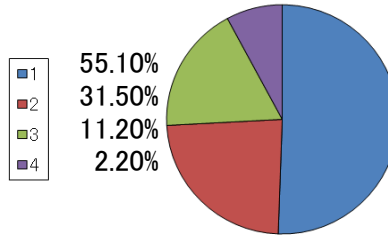
とちゅうで投げ出さず、最後までがんばる。



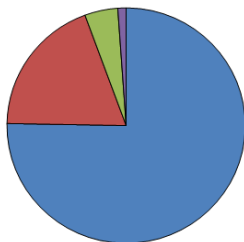
やさしい気持ちをもって、友達となかよくできる。



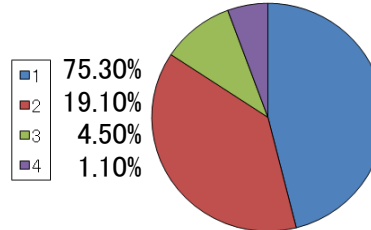
友達のいいところを見つけている。



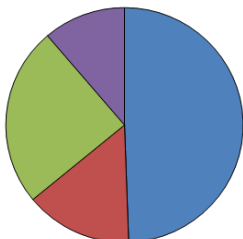
あいさつをしっかりしている。



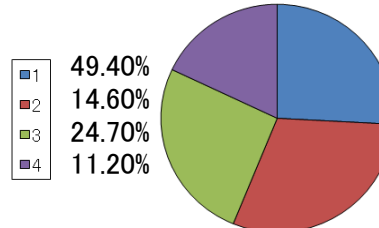
学校やクラスのきまりを守っている。



外で元気に遊んでいる。



学校の図書館を利用して、進んで読書している。



保護者

○子どもについて

	重要度				実現度				
	重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	わからない
楽しく学校生活を過ごしていること	94.6%	5.4%	0.0%	0.0%	41.3%	52.0%	4.5%	1.3%	0.9%
めあてをもって、積極的に学習すること	77.6%	22.4%	0.0%	0.0%	14.8%	63.7%	18.8%	1.3%	1.3%
間違いを恐れず自分のおもいを表現すること	77.6%	21.5%	0.4%	0.4%	9.0%	53.8%	31.8%	4.5%	0.9%
課題を解決するため、粘り強く取り組むこと	80.7%	17.9%	0.9%	0.4%	10.8%	58.3%	24.7%	2.7%	3.6%
お互いの良さを認め合い、思いやりの気持ちをもって行動すること	94.2%	5.8%	0.0%	0.0%	22.4%	65.9%	6.7%	0.4%	4.5%
あいさつをしたり、適切にコミュニケーションしたりすること	91.9%	7.6%	0.0%	0.4%	20.2%	66.4%	9.4%	0.9%	3.1%
学校のきまりや社会のルールを守ること	81.6%	17.5%	0.4%	0.4%	29.1%	63.7%	3.1%	0.4%	3.6%
健康な体・安全に気をつけて生活すること	85.7%	13.9%	0.0%	0.4%	30.5%	65.0%	3.1%	0.9%	0.4%

○学校・家庭・地域について

	重要度				実現度				
	重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	わからない
おたよりやホームページなどで子どもの様子や学校の取組を伝えること	48.4%	43.9%	6.3%	1.3%	26.0%	65.0%	6.3%	0.4%	2.2%
学校と家庭が子どものことについて気軽に相談できること	77.1%	22.0%	0.9%	0.0%	14.3%	61.0%	18.4%	1.8%	4.5%
PTAの活動に積極的に参加すること	17.0%	60.5%	18.4%	4.0%	7.2%	57.4%	25.1%	4.9%	5.4%
子どもが家庭での約束事（携帯電話やゲーム）を守り基本的な生活習慣を身につけること	77.1%	22.0%	0.4%	0.4%	18.8%	61.9%	17.0%	1.8%	0.4%
子どもが家庭学習や読書の習慣を身につけること	71.7%	26.9%	0.9%	0.4%	19.7%	48.4%	29.6%	2.2%	0.0%

教職員

○子どもについて

	重要度				実現度				
	重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	わからない
楽しく学校生活を過ごしていること	94.4%	5.6%	0.0%	0.0%	16.7%	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%
めあてをもって、積極的に学習すること	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%
間違いを恐れず自分のおもいを表現すること	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%
課題を解決するため、粘り強く取り組むこと	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	5.6%	66.7%	27.8%	0.0%	0.0%
お互いの良さを認め合い、思いやりの気持ちをもって行動すること	94.4%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%
あいさつをしたり、適切にコミュニケーションしたりすること	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%
学校のきまりや社会のルールを守ること	94.4%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
健康な体・安全に気をつけて生活すること	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	11.1%	77.8%	11.1%	0.0%	0.0%

○学校・家庭・地域について

	重要度				実現度				
	重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	わからない
おたよりやホームページなどで子どもの様子や学校の取組を伝えること	72.2%	22.2%	0.0%	5.6%	16.7%	66.7%	11.1%	0.0%	5.6%
学校と家庭が子どものことについて気軽に相談できること	72.2%	22.2%	0.0%	5.6%	0.0%	72.2%	11.1%	5.6%	11.1%
PTAの活動に積極的に参加すること	50.0%	38.9%	5.6%	5.6%	0.0%	55.6%	27.8%	11.1%	5.6%
子どもが家庭での約束事（携帯電話やゲーム）を守り基本的な生活習慣を身につけること	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%	5.6%	72.2%	11.1%	5.6%	5.6%
子どもが家庭学習や読書の習慣を身につけること	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	5.6%	83.3%	0.0%	5.6%	5.6%

前期アンケートを終えて・・

夏休み前に学校評価を行いました。児童が、自分を高めるために自身を振り返る児童評価。学校教育充実のために、お子たちの学校やご家庭での様子を評価していただく保護者評価。そして、教職員が学校や自分自身の取組を振り返る教職員評価の3つです。

児童は低学年と高学年に分けて評価をしましたが、多くのこどもたちが優しい気持ちを持って友達となかよく過ごし、楽しい学校生活をおくっているようです。ただあまりできていないという児童もありました。普段からの指導に加え、教育相談の日も設けて、担任との面談をしましたが一人一人のおもいを受け止め、充実した毎日が送れるように今後も気を配って行きたいです。

学習面では、高学年の自身への評価基準が厳しくなるのか、取組や発言についての積極性がやや乏しいようでした。また図書館の利用についても個人差がありますので、もっと活用できるよう読書週間の取組を充実させること、あいさつも自分から進んで笑顔することなどの声かけをしていきます。

保護者の方々には、お忙しい中、アンケートにお答えいただきましてありがとうございました。重要度と実現度の両面から答えていただきました。まちがい恐れず自分の思いを表現することや粘り強い取組については重要度に比べ実現度が低いとお考えの保護者が多く、これは教職員も同じような結果でした。研究教科でもある生活科や総合的な学習の時間を通して力をつけつつありますが、学校教育目標の一つでもありますので、学習や活動の中でさらに意識し、指導にあたりたいと思います。一方で、家庭学習については、教職員がほぼ出来ていると考えるのに対して、保護者の方のとらえ方は違いました。これは、さらなる学力向上を願われる保護者の思いととらえ、後期も家庭との連絡を密にしながら指導を進めていきたいと考えます。今後ともご協力をお願いいたします。

